

令和7年度 第2回与謝野町総合計画審議会 会議報告書（要約）

日時 令和7年10月29日(月)19時00分～21時30分

場所 知遊館 2階 研修室1～3

出席者

委員（敬称略）

足立 英子 委員	安達 幸三 委員	石倉 直記 委員	尾上 亮介 委員
川勝 健志 委員 (オンライン)	小山 富美代 委員	○坂中 紀文 委員	◎谷口 知弘 委員
津波 璃生 委員	中田 麻由美 委員	樋口 潔 委員	松田 政一 委員
味田 佳子 委員	宮本 浩司 委員	山添 謙三 委員	注) ◎会長、○副会長

オブザーバー

徳田 裕之 氏

総合計画策定委員会、事務局等

傍聴者 なし

会議の日程

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議題
 - (1) 令和7年度住民アンケート調査結果について
 - (2) 第2次与謝野町総合計画の評価検証について
 - (3) その他
- ・今後のスケジュール
4. 閉会

会議の経過

開会

1. 事務局（企画財政課主幹）の司会で開会した。
2. 会長挨拶委員委嘱
 - ・本日は第2回審議会だが、1回目から2回目の間に、町民の声を拾うよさのみらい会議が開催された。
 - ・町民として感じていることをストレートに意見交換でき、その中から価値観が違うことも認識しながら、出会って交流してつながっていく場になっていたら良いと思う。
 - ・本日は説明の時間が長くなり、意見を練って述べていただくのは第3回になるかと思いますが、実り多き場になりますよ

う、よろしくお願いたします。

3. 議題

(1) 令和7年度住民アンケート調査結果について

(2) 第2次与謝野町総合計画の評価検証について

- ・事務局（企画財政課係長）より、配布資料にもとづいて説明が行われた後、質疑が行われた。
- ・質疑では、総合計画の評価・検証結果および住民アンケートを踏まえ、達成度の妥当性や今後の方向性について幅広い意見が出された。
- ・過去計画（第1次・第2次）の経緯や達成状況が分かる資料が不足しており、検討材料が不十分であるとの意見が出された。
- ・アンケートについては、回収数・若年層サンプルの少なさ・無作為抽出の方法・数値の信頼性に関する疑問が示されたが、信頼できる調査結果であり、傾向として見るべきであることが共有された。
- ・電子申請やデジタル化では、利用促進以前に満足度向上が必要との意見があり、環境分野などでは達成度や目標値設定の根拠が分かりにくいとの意見が出された。
- ・資料を理解することが難しいとの意見が出された。
- ・成果指標（KPI）については、アウトプットはあるもののアウトカム評価が弱い点、数値だけでなく目的達成の視点をどう評価するかが課題として挙げられた。達成度が低い施策でも「継続」とされている点への疑問や、成果指標をどう設定するかにより達成度が変わることへの疑問が出された。
- ・今回は、達成度や今後の方向性を議論し、第3次計画策定の際の目標値に関しては項目の検討も必要との意見が出された。
- ・議論をするために、収集した情報・データを分析し、分析結果を共有したうえで、データは一つの素材であり、データだけでは判断できないことが出てくるため、ワークショップや住民の声を聴きながら足りない部分を補っていきながら議論することが大切との意見が出された。

(3) その他（今後のスケジュールについて）

- ・事務局（企画財政課主幹）より、配布資料にもとづいて説明が行われ後、質疑が行われたが、特に意見はなかった。

4. 閉会

- ・副会長より閉会のあいさつが行われ、閉会した。